

# 世 界 史

(問 題)

2014年度

〈2014 H26083424〉

## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～7ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

|         |      |      |      |
|---------|------|------|------|
| マークする時  | ● 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |
| マークを消す時 | ○ 良い | ○ 悪い | ○ 悪い |

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

|         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 数 字 見 本 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

|            |   |   |   |   |   |
|------------|---|---|---|---|---|
|            | 万 | 千 | 百 | 十 | 一 |
| (例) 3825番⇒ |   | 3 | 8 | 2 | 5 |

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。終了の指示に従わない場合は、答案のすべてを無効とするので注意すること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔Ⅰ〕 次の文章を読んで設問に答えなさい。設問 1，設問 3 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし，設問 2 は記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

古代文明の成立に際して，重要な役割を担ったのは都市の存在であった。都市生活は生産経済，すなわち，農耕によって支えられており，人口の増加，階級の分化，学問や技術の発達なども促した。メソポタミア・エジプトやインドで最初の都市が現れるのは紀元前3000年紀であるが，同じ頃，中国でも黄河下流域を中心に村落の政治的統合の進展が見られ，周囲を壁で囲まれた城郭都市も現れた。一方，アメリカ大陸では，人類の進出が遅れたこともあり，都市の形成は紀元前1000年紀頃のことであった。

設問 1 下線部 A に関する記述のうち，正しいものはどれか。

- イ シュメール人は楔形文字や六十進法を発明し，太陰暦を改良して太陽太陰暦を完成させた。
- ロ 印章に刻まれたインダス文字は，主に経済活動や信仰にかかわる事象を記録するために用いられた。
- ハ 亀甲や獣骨に刻まれた甲骨文字は，神意を占った結果を記したものである。
- ニ 南北アメリカ大陸の諸文明は金・銀・青銅器の生産技術を発展させ，独自に製鉄技術を確立した。

設問 2 下線部 B について，「エジプトはナイルのたまもの」と評した人物の名前を記しなさい。

設問 3 下線部 C について，古代アンデス文明の興亡史の中でもっとも古いものはどれか。

- イ チャビン文明    ロ インカ文明    ハ ナスカ文明    ニ テオティワカン文明

〔Ⅱ〕 以下の A～C の文を読んで，各設問に答えなさい。設問 1，2，5 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。設問 3，4 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

A

洛陽や長安から西北方に向かい，甘粛をへて敦煌に出ると，タリム盆地をはさんで南北両道に分かれる。北道は天山山脈南麓の，南道は崑崙山脈北麓の各オアシスを経由し，パミール高原をこえ，西アジアをへて，地中海沿岸に達する。中国の絹はこの道を通じて西方に運ばれた。

設問 1 下線部 a に関連する記述の中で，誤っているものはどれか。

- イ 中国では葱嶺とよび，その名が中国に知られるのは，張騫の旅行以後である。
- ロ この高原を境にしてトルキスタンは東西に分かれる。
- ハ トルキスタンはもとアリーヤ系住民の地であるが，北方トルコ系民族の移住によりこの地域のトルコ化がおこった。
- ニ ソグディアナは東トルキスタンの中心地にあり，中国側の記録には粟特などとして見える。

設問 2 下線部 b に関連する記述の中で，誤っているものはどれか。

- イ 北道のクチャには，漢代に西域都護府，唐代に安西都護府が置かれ，中国の西域経営にあたった。
- ロ 南道のホータンは中国側の記録に于闐などとして見え，古来“玉”の産地として名高い。
- ハ 前漢の宣帝のとき，甘英は西域都護の班超の命で大秦国に派遣された。
- ニ 敦煌は前漢の武帝によって置かれた敦煌郡設置に始まり，塑像と壁画を主とする莫高窟の仏教美術は世界的に有名である。

B

草原の道は，中国北方の長城地帯からモンゴル高原，アルタイ山脈，カザフ草原などをへて，南ロシア草原地帯にいたる，内陸アジア北部を東西に結ぶルートである。これらの地域で活躍した諸民族は（あ）である。

設問 3 空欄（あ）に入る最も適切な語句を漢字 5 字で記入しなさい。

C

海の道は、中国南部から東南アジアをへてインドに達するルートと、地中海から紅海をへてインド洋を渡り、インドに達するルートを結ぶものであり、また（ い ）を利用した船による海上交通路である。これにより大量の輸送が可能となり、とくに唐代以降はムスリム商人が活躍し、それまでの陸路にかわって東西交通の中心となっていた。

設問 4 空欄（ い ）に入る最も適切な語句を記入しなさい。

設問 5 “海の道”に関連する記述の中で、誤っているものはどれか。

- イ 唐中期以降、宋・元・明では海上貿易の監督官庁として公行を置いた。
- ロ 9世紀以降、中国の陶磁器が海路を通じて大量に西方へ運ばれるようになり、そのため“陶磁の道”ともよばれる。
- ハ アフリカ大陸東岸からインド西岸までのインド洋西海域では、三角帆のダウ船が広く海上交易に利用された。
- ニ 中国で建造されたジャンク船は内部を仕切りで分けた丈夫な構造をもっており、遠洋航海に適していた。

〔Ⅲ〕 次の文を読み設問に答えなさい。設問 1～3 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問 4 は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

10世紀以降の中国には、宋、遼、西夏、金、元、明、清と多くの王朝が興亡した。これらの王朝の共通点をみると、西夏は一時<sup>a</sup>的であったが、いずれも皇帝を称する君主が存在し、その下で官僚が皇帝の手足となって政治をおこなった。科举はその官僚とな<sup>b</sup>る重要な一つの道である。一方、相違点には、皇帝が漢族であるか、非漢族であるかがある。前者は宋・明であり、それ以外が後者である。宋から元と明から清は、いずれも漢族政権から非漢族政権への交替であるが、元と清は、圧倒的多数を占める漢族の統治法<sup>c</sup>において違いがあった。例えば、金、次に南宋を征服した元には、中国の南北を分けて扱うという意識があり、それに対し清は明が統一王朝であったため地域差への意識は薄かった。また海域に対する政策も、マルコ＝ポーロが泉州を世界一の貿易港と紹介したように国際貿易に積極的な元に対し、清は、当初 d に消極的であった。

設問 1 下線部 a に該当する人名は誰か。

- ア 耶律阿保機    イ 完顔阿骨打    ウ 李元昊    エ 王建

設問 2 下線部 b について、誤っている説明はどれか。

- ア 宋の建国者趙匡胤は、科举出身者ではない。
- イ 皇帝自らが実施する殿試は、宋代から始まった。
- ウ 永楽帝は、四書大全を科举の基準書とした。
- エ 清は戊戌の政変で科举を廃止した。

設問 3 下線部 c について、該当しない説明はどれか。

- ア 元は、旧金朝領の民を漢人、旧南宋朝領の民を南人として統治した。
- イ 清は、僧侶など一部例外を除き、すべての漢人男性に辮髪を強制した。
- ウ 元は、旧金朝領のすべての漢人を、千戸制に組み入れて統治した。
- エ 清は、中央の重要官庁に満人と漢人を置く満漢併用制をおこなった。

設問 4 文中の d に、遷界令、台湾の鄭氏、明という語を使用して20字以上30字以内で適切な文章を入れなさい。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、設問１～３に答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

中国では、官設の絵画制作機関である **A** の設置は８世紀前半にさかのぼるが、活動が最もさかんになったのは徽宗の時代であり、そこで制作された絵画の画風は院体画とよばれる。また、士大夫たちが余技として山水竹石などの題材に託し風雅の心境を自由に表現した **B** も、大きく発展した。

設問１ 徽宗時代における **A** の説明として適当ではないものを選びなさい。

- ア ここでは「女史箴図」に代表される儒教的勸戒画がさかんに描かれた。
- イ ここではとくに写実性や装飾性が重んじられる傾向が強かった。
- ウ 正式には翰林图画院とよばれる。
- エ 公用の絵画の制作や皇帝の命による作画がおこなわれた。

設問２ **B** は、この後さらに新しい境地を開きつつ大成されていった。そのことに最も関係の深い人物を選びなさい。

- ア 呉道玄    イ 司馬光    ウ 顔真卿    エ 董其昌

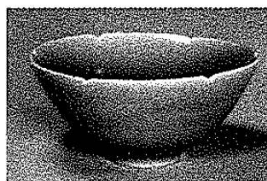
設問３ 徽宗時代のころから、隣国の高麗では磁器がおおいに発達した。その作品を選びなさい。



ア



イ



ウ



エ

〔Ⅴ〕 以下の文章を読み、設問に答えなさい。設問２～４はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問１、５は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

ヨーロッパ世界では11世紀以降、商業交易が活発に行われるようになり、商人の活動の場として都市が発展した。地中海地域では「**a** 海の女王」と称えられたヴェネツィアを中心に、イタリアの都市が東方貿易で大きな利益を上げた。北ヨーロッパでは、北海やバルト海の海路を利用した都市間の交易が活発になされ、この地域の諸都市は**b** ハンザ同盟を結成して商業交易を拡大した。東のスラヴ人地域では**c** バルト海と黒海を結ぶ交易ルートが生まれ、そのルートを支配したロシア人の**d** キエフ公国が繁栄し、大公 **e** の時代にはギリシア正教に改宗しキリスト教世界の一員となった。このように都市を拠点とする商業の発展は、ヨーロッパの商業交易を拡大しただけでなく、キリスト教世界を拡大することにも貢献した。

設問１ **a** に入る言葉を記しなさい。

設問２ 下線部 **b** に関して、誤りを含むものを選びなさい。

- イ ハンザ同盟はあくまでも商業権益を守るための都市連合であり、軍事力とは政治的には皇帝の保護下にあった。
- ロ ハンザ同盟に加盟した都市の数は100を超え、共通の貨幣や度量衡をもっていた。
- ハ ハンザ同盟はリューベックを盟主として13世紀後半から発展し、北海、バルト海一帯の商業交易を支配した。
- ニ ハンザ同盟は、ヨーロッパで主権国家体制が成立するとしだいに衰退した。

設問3 下線部cに関して、このルートの北の拠点となった都市を選びなさい。

- イ ハンブルク    ロ ノヴゴロド    ハ ペテルブルク    ニ ケーニヒスベルク

設問4 下線部dに関して、正しいものを選びなさい。

- イ 首都キエフは、ローマ、コンスタンティノープルに次ぐ「第三のローマ」と呼ばれた。  
ロ キエフ公国は、13世紀にモンゴルの侵入で滅びた。  
ハ キエフ公国は、レヒフェルトの戦いでドイツ王国に敗れた。  
ニ キエフ公国は、12世紀にブルガリア王国を支配下に置いた。

問5 e にあてはまる人名を記しなさい。

〔Ⅵ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。1, 3は記述解答用紙の所定欄に記し, 2, 4, 5はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

18世紀後半から19世紀前半において、大西洋をはさんだヨーロッパやアメリカの諸地域では革命・独立運動が連続して起こり、近代社会形成の大きな推進力になった。たとえば、まず1770年代からのアメリカの独立運動がその突破口となり、80年代にかけてはジュネーヴやオランダで革命運動が起き、1780年代後半からはフランス革命が本格化して、運動の一つのピークを迎えることになった。また、19世紀前半には、フランス革命などの影響を受けて、ヨーロッパ各地で革命運動が勃発し、近代的な国民国家の発展が促進されていった。このように、欧米地域の革命運動をグローバルな観点から一体のものとみなす考え方は「大西洋革命論」とも呼ばれるが、この革命運動の重要な一端を担ったのが、ラテンアメリカの運動であった。

まずラテンアメリカのフランス領ハイチでは、「黒いジャコバン」と呼ばれた A を指導者として独立運動が展開され1804年に独立し、世界最初の黒人共和国となった。さらに1810年代にはスペイン領の植民地で独立運動が起こり、南米北部ではシモン＝ボリバル、南部ではサン＝マルティンを指導者として独立を達成し、さらにメキシコではイダルゴが独立を求めて蜂起した。しかし、これらの独立の中心となったのは、植民地生まれの白人であり、独立を達成したのちの共和国でもこれら白人大地主の支配が続き、その後の大きな社会問題となっていた。またブラジルもこの時期に独立を達成した。

設問1 下線部aに関連して、アメリカは1776年7月に独立宣言を発表したが、この独立宣言の起草委員を務め、1776年から85年には駐仏大使として、フランスなどからの援助の獲得に努めた人物は誰か。この人物の名前を答えよ。

設問2 下線部bに関連して、1780年代後半からのフランス革命の事件や事象が、古いものから正しい順に並んでいるものはどれか。

- イ テュルゴの財政改革 → 三部会の招集 → 人権宣言の制定 → 国民議会の結成  
ロ 球戯場の誓い → ヴェルサイユ行進 → ヴァレンヌ逃亡事件 → ミラボーの死  
ハ 英仏通商条約（イーデン条約）の締結 → バスティーユの襲撃事件 → 人権宣言の制定 → 立法議会の成立  
ニ 球戯場の誓い → テュルゴの罷免 → バスティーユの襲撃事件 → ヴェルサイユ行進

設問3 A にあてはまる指導者は、独立の直前の1803年に獄死したが、この人物の名前を答えよ。

設問4 下線部cに関連して、ラテンアメリカにおける独立運動の中心となった、植民地生まれの白人は何と呼ばれていたか。次のうちから最も適切なものを選びなさい。

- イ メスティーソ    ロ ムラート    ハ クリオーリョ    ニ インディオ

設問5 下線部dに関連して、ブラジルなどラテンアメリカの独立運動とその時代背景に関して述べた次の文の中で、正しいものはどれか。

- イ アメリカはモンロー教書を発し、アメリカ大陸とヨーロッパの相互干渉を強化し、ラテンアメリカの独立運動を排斥しようとした。
- ロ オーストリアのメッテルニヒは、ラテンアメリカの独立運動を支援して、ヨーロッパとの新たな国際関係を築いた。
- ハ イギリスの首相カニングはラテンアメリカ市場が阻害されることを恐れ、ラテンアメリカ諸国の独立を認めようとはしなかった。
- ニ ブラジルは、ポルトガルの王子が帝位について独立し帝国となったが、その後19世紀末に共和国となった。

〔Ⅶ〕 以下の文章を読み、設問に答えなさい。設問1, 2, 4はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークし、設問3, 5は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

1901年<sup>1</sup>ヴィクトリア女王（在位1837－1901年）が亡くなったとき、多くのイギリス人は一つの大きな時代の終焉を感じていた。女王の治世中イギリスは「世界の工場」として多くの工業製品を輸出し、7つの海を支配する世界帝国を作り上げた。国内的にも数回にわたる選挙法改正によって労働者の一部まで選挙権が拡大し、自由党、保守党による二大政党制が成立した。とはいえ多くの労働者の生活はいまだ貧しく労働運動が起こった。だがその運動の主流は穏健な 3 協会といわれる団体によって推進された。

しかし20世紀に入るとイギリスは経済的には工業化の進むアメリカ合衆国やドイツに急速に追いつかれていく。また「連合王国」の一部をなしていた<sup>4</sup>アイルランドは独立をもとめ、かれらは暴力的な運動も辞さなかった。イギリスは自治領との関係も新たに確定する必要が生じ、イギリス自治領は本国から独立した立法権、司法権を持つことを定めた 5 が1931年に制定された。

設問1 下線部1に関連し、ヴィクトリア女王の在位中にイギリスで起こった出来事はどれか。

- イ アダム＝スミスが『諸国民の富』を著した。
- ロ ロイド＝ジョージが「人民予算」を議会で提案した。
- ハ ジョン＝スチュアート＝ミルが『自由論』を著した。
- ニ ラダイト運動が起こった。

設問2 下線部2に関連し、イギリスで開発された科学・技術はどれか。

- イ ファラデーによる電気分解の法則      ロ モールスによる電信機
- ハ フルトンによる外輪式蒸気船      ニ マイヤーによるエネルギー保存の法則

設問3 3 に当てはまる適切な語を記しなさい。

設問4 下線部4に関連し、アイルランド問題について正しいものはどれか。

- イ 首相グラッドストーンはアイルランド自治に一貫して反対した。
- ロ アイルランドのジャガイモ飢饉はイギリス政府の救済策で被害は最小限に食い止められた。
- ハ シン＝フェイン党はアイルランド独立に強硬に反対する政党として有名である。
- ニ アイルランド自由国成立後もアルスターではプロテスタント住民とカトリック住民の対立が続いた。

設問5 5 に当てはまる適切な語を記しなさい。

〔Ⅶ〕 以下の文章を読み、図1を見て設問1～4に答えなさい。解答はすべてマーク解答用紙の所定欄に一つだけ記すこと。

イタリア中部の古都フィレンツェを舞台にして始まったルネサンスの文芸運動はすでに13世紀末以降に、その萌芽を見いだすことができる。文学においては、大叙事詩『神曲』を著わしたダンテや短編小説集 **A** の作者ボッカチオ、また絵画の世界ではジョットたちが登場する。彼らの作品には人間の姿をありのまま見つめ、肯定する「人文主義」の思想がすでに現れている。とはいえ、中世後期（美術では **B** ）を脱した真に近世的なルネサンス運動の発展は15世紀を待たねばならなかった。

そのイタリア＝ルネサンスの最盛期は15世紀も後半になって、3大巨匠と称されるレオナルド＝ダ＝ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロの台頭により形成されるが、もはやフィレンツェだけが彼らの活躍する都市ではなかった。特にローマにおいては、カトリック信仰の総本山であるサン＝ピエトロ大聖堂の建設と、教皇庁が置かれたヴァチカン宮殿内のシステイナ礼拝堂の装飾（図1）のために有能な建築家や画家が招聘され、一時代の繁栄を謳歌した。しかし1527年、教皇庁は国家間の抗争に巻き込まれ、**C** 下の神聖ローマ帝国皇帝軍の侵攻と略奪を許し（いわゆるローマ略奪）、ここに盛期ルネサンスは徐々に衰退していくこととなった。

設問1 **A** に当てはまる語を以下のア～エから選びなさい。

ア 七つの大罪    イ カンタベリ物語    ウ デカメロン    エ ヴェニス商人

設問2 **B** に当てはまる語を以下のア～エから選びなさい。

ア ゴシック様式    イ バロック様式    ウ ロマネスク様式    エ ロココ様式

設問3 図1はその一つである。そのテーマを以下のア～エから選びなさい。

ア 光と闇の分離    イ アダム創造    ウ キリストの降誕    エ ダヴィデ

設問4 **C** に当てはまる語を以下のア～エから選びなさい。

ア カール大帝    イ フェリペ2世    ウ フランソワ1世    エ カール5世

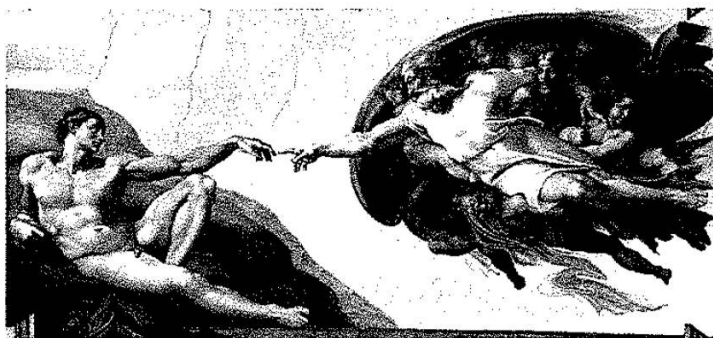


図1 ミケランジェロ作 システイナ礼拝堂天井壁画、1508～12年頃

〔以下余白〕